



# 岩井やすのり県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 北総鉄道の利用促進を

### 特急電車増便など提言

印西市・印旛郡栄町選出の岩井泰憲県議(4期)は2月定例県議会で登壇し、印西市などを走る北総鉄道の利便性向上や県立博物館「房総のむら」の魅力向上、ケアマネジャー不足などについて、熊谷知事ら県執行部に施策を質問しました。未だ多額の長期債務が残る北総鉄道ですが、利用促進に向けて、特急電車の増便などの利便性向上を提案しました。岩井県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

岩井議員 北総線はいまだ利用者の勤務形態や生活様式の変化に伴う輸送需要の先行きが懸念される状況にあり、沿線市民の貴重な足である北総線を守り、育てるべく北総線の利用促進を図っていかねばならない。

岩井議員 北総線は、ために汗を流すのは当然の事であり、まして、株式の22%余りを保有する北総鉄道については、主要株主の一つとして、北総鉄道の利用促進につながる、利便性向上に関する提案をしていくべきだと考える。

岩井議員 北総線の利便性向上について、今までのような取り組みが行われてきたのか、また、今後どのように取り組んでいくのか。

岩井議員 北総線は、大量の利用客を安全・迅速に輸送できる重要な社会インフラであり、列車の運行本数の増加や安全性の向上などの取り組みは、沿線地域の魅力を高めるものと考えています。

岩井議員 県では、多額の長期債務を抱える中で、駅や車両のリニューアルを計画的に実施するとともに、昨年10月の運賃引下げを契機としたダイヤ改正では、日中

岩井議員 北総線は、大量の利用客を安全・迅速に輸送できる重要な社会インフラであり、列車の運行本数の増加や安全性の向上などの取り組みは、沿線地域の魅力を高めるものと考えています。

### 9月定例県議会一般質問



9月定例県議会で、熊谷知事らに質問する岩井泰憲県議

岩井議員 県は株主として、北総鉄道の経営にどう関わっていくのか。

総合企画部長 北総地域にとって重要な公共交通である北総鉄道は、建設に係る多額の有利子負債を抱え、開業後の利用者も伸び悩み、厳しい経営状況が続いたことから、県は経営安定化を図るため、会社に対する出資を増やしてきたところです。

近年は利用者の増加等を背景に、23期連続の黒字を

岩井議員 県は株主として、北総鉄道の経営にどう関わっていくのか。

総合企画部長 北総地域にとって重要な公共交通である北総鉄道は、建設に係る多額の有利子負債を抱え、開業後の利用者も伸び悩み、厳しい経営状況が続いたことから、県は経営安定化を図るため、会社に対する出資を増やしてきたところです。

近年は利用者の増加等を背景に、23期連続の黒字を

累積損失解消したが多額の長期債務残る

岩井議員 地元住民からの要望状況を踏まえて、印西牧の原

駅へのアクセス特急の停車や北総鉄道が運行する特急電車の増便の 実現に向け



利便性向上が求められている北総鉄道

●印西市・栄町と県政のために

## 岩井やすのり 県議事務所

〒270-1515 千葉県印旛郡栄町安食台2-26-23 大山ビル202  
TEL 0476-36-7799 FAX 0476-36-7802

て、県として働きかけを行うよう要望する。

# 体験プログラムやミュージアムショップ



商家が並ぶ昔の街道筋を再現した「房総のむら」

## 「房総のむら」魅力アップ

岩井議員 昭和61年に開館した房総のむらは、県内各地から出土した考古遺物や、武家屋敷・商家・農家などの展示を行い、房総の伝統的な生活様式や技術が体験できる県立の博物館。成田空港から近く、訪日外国人にとっても、日本の伝統を体験できる数少ない施設であり、本県観光の目玉として大きな潜在力を有している。

そこであらうが、房総のむらを活かした地域活性化に向けて、県はどのような取り組みを進めているのか。

知事 房総のむらは、成田空港に隣接する恵まれた立地と参加体験型博物館という特色をもつ施設であり、本年4月に施行された改正博物館法で期待される文化観光施設としての役割を果たすことが重要です。

このため県では、来年度からの次期指定管理者の募集にあたり、多様な主体との連携事業や地域振興を目的とした体験プログラムの開発・実施、さらには地元からの要望

も踏まえ、ミュージアムショップの設置、キャッシュレス決済の導入、駐車場の開放時間延長など、来館者の利便性向上に資する取り組みの提案を求めるとしています。

こうした取り組みを着実に進めることで、地域活性化

岩井議員 房総のむらは県立の施設だが、地元栄町の地域活性化を果たす起爆剤的な位置づけである。商家の町並みを活かした体験メニューの設定、旧学習院初等科正堂を活用したコンサートや伝統芸能などの取り組みなど、

化に資する施設として房総のむらの魅力を高めてまいります。

新たな価値を創出する取り組みを期待したい。そのためにも地元自治体

である栄町と都度連絡を取りながら協力体制を築いていってほしい。

続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、残る用地の取得を進め、事業の推進に努めてまいります。

### 県道千葉電ケ崎線バイパス整備1・9キロ供用

岩井議員 県道千葉電ケ崎線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道千葉電ケ崎線では、交通混雑の緩和と歩行者の安全を確保

### 安全交差点を改良

岩井議員 国道356号安全交差点改良の進捗状況はどうか。

県土整備部長 国道356号安全交差点及び隣接する交差点には、右折レーンがなく、歩道も未整備であることから、安全で円滑な通行を確保するため、交差点改良と歩道整備を進めて

### カワウ対策で樹木伐採

岩井議員 県立北総花の丘公園におけるカワウ対策はどうか。

県土整備部長 北総花の丘公園では、公園内にある戸神川防炎調節池周辺の樹木に多くのカワウが営巣しており、その糞被害の改善について、近隣住民から要望をいただいているところです。

## ケアマネジャー不足解消へ「処遇改善が先決」

岩井議員 介護支援専門員、ケアマネジャーについて、「人材確保が一番大きな課題。若い世代に志望している人が少ない」と、介護支援専門員の未来は厳しいとの声が上がっている。そこであらかうが、ケア

岩井 県議

マネジャーの役割と人材不足の状況について、どのように認識しているか。

介護等認定者数は、平成30年度には約27万人だったものが、令和4年度には約30万人と年々増加しており、地域によっては、担当するケアマネジャーの確保に時間がかかり、支援の開始が遅れることがあると聞いています。

今後、更に急速な高齢化が見込まれており、ケアマネジャーの必要性はますます高まっていくものと認識しています。

岩井議員 ケアマネジャーの不足が生じないよう、県としてどのように取り組んでいるのか。

知事 ケアマネジャーの有資格者で、現在、業務に従事していないケアマネジャーに対し、その離職理由や復職への課題などについて抽出調査を行い、ケアマネジャーの確保の課題を検討します。国に対しては、ケアマネジャーの確保に資するため、厳格化された受験要件の見直しや、介護に携わる全ての職員の処遇改善を要望しているところです。

### 要望

ケアマネジャー職の処遇改善が求められる。来年は介護報酬改定の年を迎えるが、県として引き続き国へ働きかけ、要望されるよう願っています。

### 要望

今後利用者が必要なサービスを受けられるよう努めてまいります。